

# 道の駅くるくる なると

徳島県鳴門市

基本設計／寒川建築研究所  
実施設計・監理／ニュージェック  
施工／井上建設



V字の構造柱と大庇で大鳴門橋を表現

徳島県鳴門市では平成27年に策定した鳴門市総合戦略に基づき、定住人口確保と交流人口拡大に向けた施策を実施しており、今回その基幹となる交流拠点施設として、鳴門市大津町の国道11号沿いにおいて四国のゲートウェイとしての道の駅が計画された。四国のゲートウェイとなる本計画施設は、誰もが快適に休憩でき、人を呼び込む機能を備えた施設として、人々が出会い、交流し、実際に「見て 知って 体験して 食べて買う」ことなどを通じた「楽しい・面白い・便利・誰かに伝えたい」と思わせる施設づくりを目指した。また、道の駅の多くの利用者が行き交い・交流する「交流拠点施設」としての機能はもとより、震災や津波を想定した非常時の拠点としての機能も整備するため、「フェーズフリー（普段利用しているサービスが災害時に適切に使えるようにする）」の実現に重きを置いていることが本施設の特徴である。震災時には数メートルの津波が押し寄せる敷地条件のもと、屋上を「一次避難場所」として設定するとともに、平常時は自由に遊べて憩いの場となる「芝生広場」や屋外の景色を眺めることができる「見晴らしデッキ」などを屋上空間として整備した。

芝生広場や見晴らしデッキで展開される鳴門の名物をモチーフとした遊具やジップラインなどは、集客コンテンツの1つになっており体験型道の駅としてエンターテインメント性の高い施設となっている。屋上へのアクセス部は人工芝を敷き詰めたスロープを設置することで「大地と空をつなぐ子どもたちの遊び場」として整備し、避難時には大切な3つの要素、①バリアフリー

で上げられる（誰でも）、②時間外でも上げられる（いつでも）、③迷いなく上げられる（早く）を実現し、避難動線として機能している。内部では渦潮をモチーフにしたすべり台を整備し、万が一の避難動線としても活用している。また非常時は「避難者への食料供給」としての機能を果たすバックヤードや倉庫を整備するなど随所にフェーズフリーの考えを取り入れている。



施設アプローチ 大地と空をつなぐスロープが見える

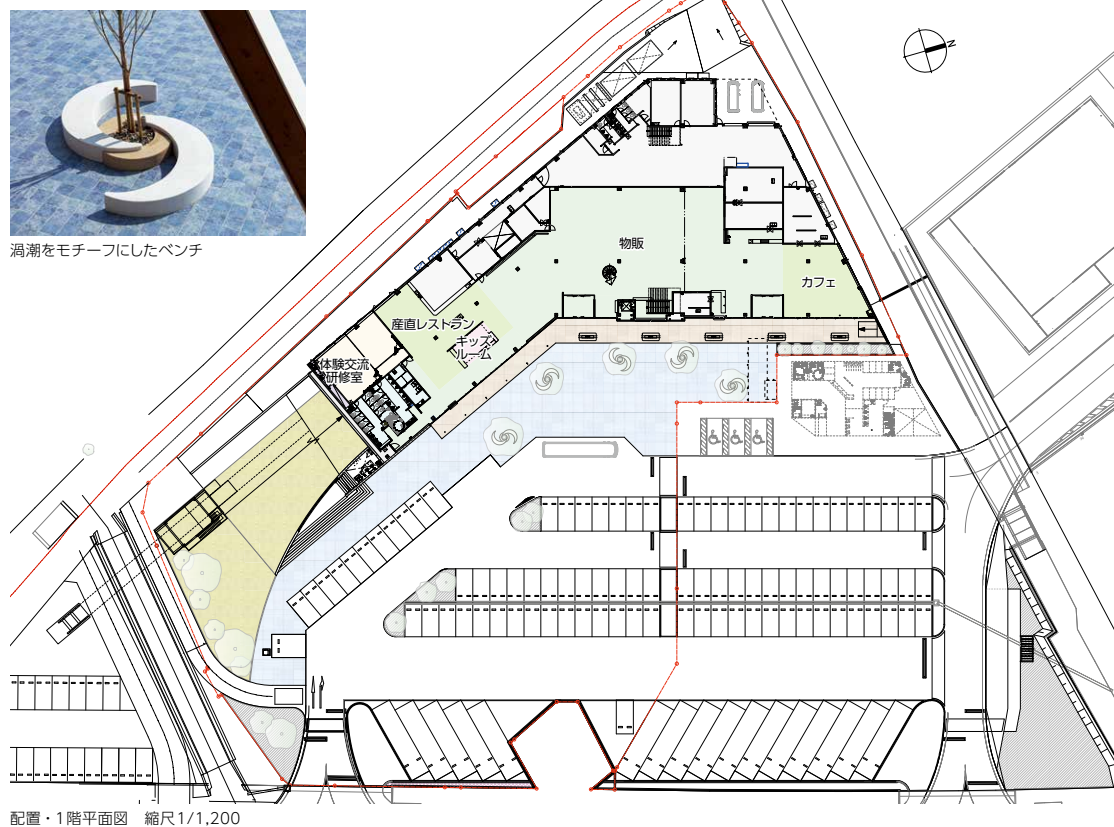


ワイドフロンテージで地域のランドマークとなる施設計画

建物の外観デザインにおいては鳴門海峡をモチーフとした施設として建物の構造部材を大胆にあらわし、建物の顔となるV字の構造柱と大庇で大鳴門橋を表現。これら建物の構造部は、地域性をあらわすだけでなく、公共施設としての大地震時や津波に耐え得る強固な構造体としても機能している。

また、外構床材に瀬戸内海の青い海を彷彿させる瀬戸内ブルーのタイルやそこに浮かぶ渦潮型のベンチなど、地域のランドマークとして、鳴門ならではのデザインを取り入れ、地産の杉板や大谷焼、藍染の暖簾などを各所にあしらひ、地域の想いの詰まった施設となっている。

(寒川洋次/寒川建築研究所)  
(安川雅巳/ニュージェック)



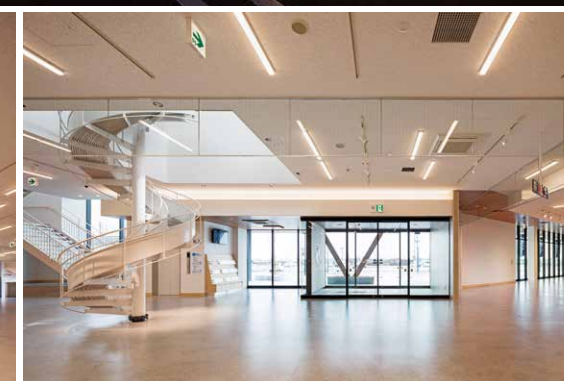
藍染の暖簾が来訪者を迎える



瀬戸内ブルーのタイルが広がる広場



大きな吹抜から自然光を取り込む



螺旋のすべり台を配した物販スペース



フェーズフリーに寄与する屋上広場

道の駅くるくる なると データ

**所在地** 徳島県鳴門市大津町備前島宇蟹田の越338-1  
**主要用途** 道の駅  
**建築主** 鳴門市  
**基本設計** 寒川建築研究所  
 担当/総括：寒川洋次 建築：寒川恵太  
**実施設計・監理** ニュージェック  
 担当/総括：安川雅巳 建築：難波吾航  
 構造：井口明憲 設備：山中慎太郎、北野宏貴  
**施工**  
**建築** 井上建設 担当/佐々木智哉  
**電気** 徳島エムテック 担当/坂井俊輔  
**管** 吉崎設備工業 担当/吉崎克信  
**基本設計期間** 2019年4月～2019年12月  
**実施設計期間** 2020年7月～2021年3月

**工事期間** 2021年5月～2022年3月  
**【建築概要】**  
**敷地面積** 8,019.68㎡ (市整備範囲)  
**建築面積** 2,612.77㎡  
**延床面積** 2,996.13㎡  
**店舗面積** 1,351.57㎡  
**店舗数** 6店舗 (物産館、産直レストラン、カフェ、パン売場、軽食厨房、ベーカリー)  
**建ぺい率** 32.58% (許容70%)  
**容積率** 37.15% (許容200%)  
**構造規模** S造一部RC造 地上2階  
**寸法** 最高高さ/10.67m 軒高/9.19m 階高/1階：5.00m 2階：3.90m 天井高さ/3.5m他 主なスパン/8.5m×9.5m 客用通路幅員/2.8m他  
**道路幅員** 38m  
**駐車台数** 130台程度 **駐輪台数** 20台程度  
**地域地区** 市街化調整区域  
**総工費** 約17.8億円 (用地取得費除く)  
**【設備概要】**  
**電気設備** 受電方式/高圧1回線受電方式 設備容量/700kVA 非常電源/パッケージ型ディーゼル発電機 90kVA 太陽光発電設備/単結晶11kW 電気自動車急速充電設備/50kW×1台  
**空調設備** 空調方式/空気熱源HPパッケージ型空調和機 熱源/電気  
**衛生設備** 給水/加圧給水方式 給湯/ガス湯沸器 (瞬間) ガス/パルク貯槽タンク LPガス950kg×2基 排水/合併処理浄化槽 (480人槽)  
**防災設備** 消火/パッケージ型消火設備、消火器 排煙/自然排煙 その他/火災報知設備  
**昇降機** 乗用11人 (機械室なし)

**【主な外部仕上げ】**  
**屋根** デッキスラブの上アスファルト防水一部再生木デッキ、人工芝張  
**外壁** ALCt100の上防水型複層仕上塗材、無塗装サイディングの上杉板防腐木材t15×150 (本実加工、上小節) 着色防汚剤塗布、両面ガラス繊維ネット張セメントモルタル板t12.5の上光触媒左官壁、RCの上高耐久性石材調吹付仕上t6  
**外構** 磁器質タイル貼 階段部：御影石乱張t30パーナー仕上 スロープ部：RCの上人工芝張、天然砂+セラミック舗装材  
**建具** アルミ製、スチール製  
**【主な内部仕上げ】**  
**物販、飲食エリア** 床/ホモジニアス系塩ビタイル貼 壁/珪藻土クロス貼、一部磁器質タイル貼 天井/杉板縁甲板t12 (準不燃認定品)、岩面吸音板  
**厨房** 床/耐熱、防滑性塩ビシート貼 壁/化粧ケイ酸カルシウム板 天井/ケイ酸カルシウム板の上EP-G塗装  
**トイレ** 床/抗菌性塩ビシート貼 壁/磁器質タイル貼 天井/PBの上EP-G塗装

撮影/中山保寛写真事務所

協力会社

|              |   |   |   |   |
|--------------|---|---|---|---|
| アルミ製建具工事     | フ | ア | イ | ン |
| 鋼製建具・シャッター工事 | 三 | 和 | シ | ヤ |
| 防水工事         | 徳 | 島 | 大 | 三 |
| 石工工事         | 徳 | 島 | 石 | 材 |
| 外構床タイル納入     | 十 | 九 | 田 | 陶 |
| 外構工事         | 四 | 国 | 化 | 成 |
|              | 建 | 材 |   |   |



**寒川 洋次**……さんがわ ようじ  
 1980年香川県生まれ。2006年早稲田大学大学院理工学研究科建築学修了、2011年寒川建築研究所入社。現在、同社代表取締役所長



**安川 雅巳**……やすかわ まさみ  
 1978年和歌山県生まれ。2001年大阪芸術大学芸術学部建築学科卒業、同年セキスイハイム入社。2005年ニュージェック入社。現在、同社建築グループ建築設計第2チーム・マネジャー